

### 第3回 NU-BRAIN シンポジウム

近年、赤外線分光法を利用した光脳機能イメージング装置を用いた研究が盛んに行われ、非侵襲な脳機能計測の有力な方法の一つとして普及してきています。一方、信号の処理方法や得られた結果の解釈が完全に確立されていないなどの問題もあり、この技術の確立には学際的な研究活動が必要となっています。また、最近では、脳内の神経活動を計測し、その計測された信号によって機械を操作する Brain-Computer Interface (BCI) 技術が提案されており、リハビリテーションへの応用や健康科学への応用が期待されています。本シンポジウムにおいては、過去の開催において特に注目されている BCI および健康科学への応用を中心とした議論を行い、これまでの日本大学の連携研究活動成果の公表、研究者間の情報交換の場の提供、研究協力促進を実施してきました。シンポジウムの講演者は、本研究分野の第一人者で構成する予定であり、本シンポジウムには、日本国内各地の研究者、技術者、本学および他大学学生などの多くの参加者が見込まれています。今回のシンポジウムにおいて、日本大学における学部間連携研究の成果を国内の関連研究者に周知すると同時に、さらに発展させる重要な機会が得られるものと考えられます。